

支援プログラム

1. 基本理念

本プログラムは、利用者さんがその特性に応じた最適な療育を受け、社会性を育みながら成長できることを目的とする。個々のライフステージに寄り添いながら、2次障害を予防し、よりよい生活の実現を支援する。また、ノーマライゼーションの視点を取り入れ、医療的ケア児が社会の一員として自然に生活できる環境の整備を目指す。

支援の4つの方策（ほわわの方針）をふまえた支援内容

① 本人の特性に合わせた、持って生まれた力を開く療育をする

【目的】

利用者さんの個性を尊重し、それぞれが持つ可能性を最大限に引き出す。

ノーマライゼーションの理念に基づき、障がいの有無に関わらず誰もが自分らしく生きる社会の形成を支援する。

【具体的な支援内容】

感覚・運動発達の支援: 体の動かし方や感覚の特性に応じた遊びや運動（例：ストレッチ、リラクゼーション、感覚遊び）・・・**運動・感覚**

視覚・聴覚を活かした支援: コミュニケーション方法（視線入力、ジェスチャー、音声デバイスの活用など）の選択肢を広げる・・・**運動・感覚、言語コミュニケーション**

医療的ケアを含む生活支援: 呼吸・嚥下リハビリ、経管栄養児の食支援、医療機器を使った活動の調整・・・**健康・生活**

② 本人の想いを基本とした社会性の獲得のためのアプローチをする

【目的】

自己表現の手段を増やし、意思決定の経験を積む。

地域社会との共生を図り、利用者さんが自然な形で社会参加できるよう支援する。

【具体的な支援内容】

コミュニケーション支援: 言葉の代替手段（AAC、スイッチ、視線入力、タブレット活用）を用いた意思表示の促進・・・**認知・行動、言語コミュニケーション**

人との関わりを楽しむ機会の提供: 家族や支援者、他の子どもたちとの関わりを増やす遊びやグループ活動・・・**人間関係・社会性**

環境整備: コミュニケーション機器の配置、福祉用具の活用、バリアフリーの整備・・・**認知・行動、二言語コミュニケーション、人間関係・社会性**

保育園や幼稚園への通園支援: 他の子どもと共に過ごす機会の確保、保育士との連携、送迎サポートの提供・・・**人間関係・社会性、地域支援・地域連携、移行支援**

学校や地域活動への参加促進: 健常児との交流を通じた社会性の育成、インクルーシブな教育環境の推進
・・・人間関係・社会性、地域支援・地域連携、移行支援

③ ライフステージ全体を見通した支援をする

【目的】

乳幼児期から成人期までの成長を視野に入れた継続的な支援を実施する。

ノーマライゼーションの考え方を取り入れ、各ライフステージでの地域・社会とのつながりを促進する。

【具体的な支援内容】

成長に応じたスモールステップの設定: 就学準備、食事の自立、移動手段の確保など・・・健康・生活、移行支援、認知行動

ライフステージごとのリハビリ支援: 乳幼児期の基礎運動発達、学齢期の身体機能維持、成人期の生活動作支援・・・健康・生活、運動・感覚

家族支援・情報提供: 医療、福祉、教育、就労に関する情報を提供し、将来の見通しを立てる・・・家族支援、移行支援

地域資源との連携: 保育園・幼稚園・学校・特別支援学校・福祉施設・訪問看護との連携強化・・・地域支援・地域連携

同年代の子どもとの交流促進: 交流イベントの実施、保育・教育機関との協力、適応プログラムの提供
一般社会との接点を持つ機会の創出: 地域のイベント参加、ボランティア活動、レクリエーションの実施
・・・人間関係・社会性、地域支援・地域連携、移行支援

④ すでに割り引かれていること（2次障害）があるとしたらその対応をする

【目的】

利用者さんが抱える身体的・心理的負担を軽減し、生活の質（QOL）を向上させる。

【具体的な支援内容】

身体面のケア: 変形予防（ストレッチ、リハビリ）、呼吸管理、摂食嚥下リハと食育の統合的支援（適切な食形態、味覚体験、楽しい食事の環境づくり）・・・健康・生活

ライフステージに応じたリハビリの工夫: 発達段階ごとのリハビリ目標設定、成人期の運動機能維持、加齢による変化への対応・・・健康・生活、運動・感覚

心理的サポート: 不安やストレスの軽減（安心できる環境づくり、リラクゼーション）・・・健康・生活、認知・行動

保護者へのメンタルサポート: 相談支援、レスパイトケアの提供・・・家族支援

まとめ

本支援プログラムは、利用者さんが安心して成長し、自己実現を図るための環境を提供することを目的としている。支援者、家族、地域が一体となり、ノーマライゼーションの理念をもとに、利用者さんが社会の一員として自然に生活できる環境を整備することで、真に包括的な支援を実現する。